

# 景況レポート

12月分

情報連絡員 80名

## 景況は製造業・非製造業ともやや減退

～家電・自動車販売以外は依然として低迷～

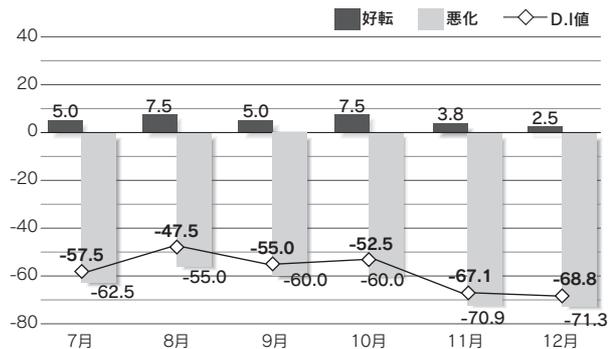
### 景気概況

12月分の県内景況は、前年同月と比較して、景況が「好転」したとする向きが2.5%(前月調査3.8%)、「悪化」が71.3%(同70.9%)で、業界全体のDI値は-68.8となり、前月調査と比較し1.7ポイント下回った。

内訳として、製造業全体のDI値は-75.0で前月調査(-71.9)に比べ3.1ポイント下回った。また、非製造業全体としてのDI値は-64.6で前月調査(-63.8)に比べ0.8ポイント下回った。

(回答数：80名 回答率：100%)

業界全体好転悪化割合 [前年比/同月比]



※DI値とは、Diffusion Index(ディフュージョン・インデックス)の略で、増加(好転)したとする企業割合から、減少(悪化)したとする企業割合を差し引いた値です。

	業界の景況	売上高	販売価格	取引条件	資金繰り	雇用人員	[天気図の見方] 前年同月比のDI値をもとに作成しています。
製造業							[凡例] 快晴 30以上 晴れ 10以上 30未満 くもり △10以上 10未満 雨 △30超 △10未満 雷雨 △30以下
非製造業							

### 業界の声

豆腐油揚げ製造	年々、正月用の商材の売れ行きが鈍くなってきている。殆どのスーパーが元旦から営業しているため消費者の買い溜めや買い急ぎもなくなり、普段と変わらずに年を越すようになった。そのため売上も低迷している。
清酒製造	11月分の清酒出荷量は1,644kLで、前年同月比99.3%で推移した。タイプ別では、吟醸酒が前年同月比で106.1%、純米酒が101.5%、本醸造酒が93.1%、レギュラー酒が99.5%という状況になっている。
菓子製造	クリスマスケーキは不景気の影響により予約数の減少が見られた。帰省等の土産品も、動きが良かったものは手頃な値段の商品であった。
繊維・同製品	季節需要の回復で幾分持ち直している企業もあるが、前年同月比では落ち込んでいる。小ロット、低工賃で生産は上がりず収益は低下しており、先が読めない状況である。
木材・木製品	市況は、需要が少ないことから製品価格も低調に推移している。原木価格は、丸太の在庫不足感から強含みで推移している。製材品の動きは悪いが、杉集成材の売上は安定しており、原料である杉ミナ材の動きは良い。
自動車販売	12月の新車販売台数は、登録自動車が1,969台(前年同月比172.1%)、軽自動車が1,419台(同109.3%)で、合計3,388台(同138.7%)であった。登録自動車は6カ月連続して前年同月を上回った。補助金・エコカー減税の効果と思われる。
電機販売	エコポイントの効用が続いている。しかし、主力のテレビの増販の割には価格の低下により商売の実感もない。
石油製品	ガソリン1ℓ当たり123円で前月比1円の引き下げ、軽油は1ℓ当たり103円で前月と変わらず、灯油(配達込み)は18ℓ宅配で1,269円で前月比13円の引き上げとなった。需要減退の流れの中、依然として厳しい経営が続いている。
商店街	需要の低迷が続いており身の回り品等は前年割れとなったが、家電等一部業種では前年比で好転が見られた。歳末商戦は郊外大型店・近隣大型店に客足を奪われ、年々売上額は減少傾向にあるが、ホテル食事券が当たる歳末謝恩セールを実施した商店街では各店舗とも若干の集客があった。[秋田市]
旅館	韓国からの観光客が好調であるが、全体的な不調をカバーするまでには至っていない。
一般建築	前政権の経済対策による工事を受注した業者は少し活性化しているが、一部の業者に限られている。金融面では政府系の融資により助けられているが、先の見通しが立たないため、今後も安値入札が続くものと予想される。